

エコツーリズム大賞概要 ■ 審査委員長講評 「第9回エコツーリズム大賞」の選考を終えて 大賞受賞者の紹介 優秀賞受賞者の紹介 特別賞受賞者の紹介 過去の受賞団体 応募状況

E C O T O U R I S M

日本のエコツーリズムの担い手たち地球と人に優しい旅を!



1

3

4

6

8

9

エコツーリズム大賞の概要

** エコツーリズム大賞とは

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、 広く紹介するもので、全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上および情報交換等による関係者の連 帯感の醸成を図ることを目的とし、平成17年度から行われています。



エコツーリズムに継続的に取り組んでいる事業者、団体、自治体などを対象とします。

(例: ツアー事業者、宿泊事業者、交通事業者、コンサルタント、協議会、教育機関、学生団体、地方公共団体など)



過去の大賞受賞団体

第1回 ピッキオ(長野県)

第2回 ホールアース自然学校(静岡県)

第3回 認定特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト(北海道)

第4回 飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会(埼玉県)

第5回 海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)

第6回 特定非営利活動法人 黒潮実感センター (高知県)

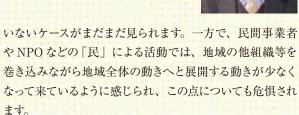
第7回 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)

第8回 紀南ツアーデザインセンター (三重県)



「第9回エコツーリズム大賞」の選考を終えて

東京大学大学院農学生命科学研究科教授
下村彰男



今回の第9回エコツーリズム大賞には57件の応募をいた だきました。応募総数は例年よりも若干少ないものの、今 回もまた多様な活動タイプの応募がありました。毎回のよ うに新たなタイプの応募があり、当たり前のこととは言え、 エコツーリズムが基本的な考え方あるいはスタイルであり、 様々なケースで展開される可能性があるとともに、現代 社会がこうした動きを求めていることが理解されます。ス キューバダイビング、ハンティングといった限定的な活動や 環境で展開するもの、幼児を対象とするものや高校、大学 の研究室の活動など教育に重心を置くもの、小規模な宿泊 施設あるいは大規模な農場で展開しているケース等、エコ ツーリズムに対する関心や認識がますます様々な方面に広 がっていることを感じました。

そんな中で、今回「大賞」を受賞された針江生水の郷委 員会は、まち全体を地域博物館(針江では「山水博物館」) として捉えて総合的に展開されています。地域自然と暮ら しとの関わり自身を資源としながら、域外の人々との交流 を促すことによって地域を活性化するとともに、資源性の 保全にも結びつけるというエコツーリズムの原点とも言うべ き仕組みを様々な工夫によって実現し、継続させているこ とが評価されました。

また、回を重ねるたびに各地の協議会からの応募が増 えており、他にも自治体をはじめ「公」的な機関からの応 募が目立つようになりました。しかしながら、ツアー展開、 資源の保全管理、地域活性化の事業が個別にあるいは 偏って展開され、相互関連や総合性が十分に計画されて

受賞された団体はもちろんのこと、応募された団体につ きましても、これを契機に活動がさらに充実し、住民そし て来訪者の双方にとって魅力的な地域づくりへと発展して いくことを期待しています。



第9回 エコツーリズム大賞の経緯

募集期間 平成 25 年 9月 19日~12月4日

応募総数 57件

表彰式 平成26年2月26日

受賞者一覧



はりましょうず きと **針江生水の郷委員会**(滋賀県) かばた文化を守る・伝える〜針江

優秀賞

株式会社 知床ネイチャーオフィス (北海道) 知床の自然を未来へつなぐために

特定非営利活動法人

飛騨小坂 200 滝(岐阜県)

小坂の素晴らしい自然環境を守り・伝え・繋げます

特定非営利活動法人

桜島ミュージアム(鹿児島県)

活火山を体験しよう!桜島まるごと博物館

特別賞

特定非営利活動法人 えがおつなげて (山梨県) 都市と農村をつなぎ、安定的に農村の環境を守る

特定非営利活動法人

八ヶ岳スーパートレイルクラブ(長野県)

豊かな自然・歴史・文化の魅力を再発見

鳥羽市エコツーリズム推進協議会(三重県)

自然を大切に 文化を大切に 観光を楽しむ

特定非営利活動法人

おおぎみまるごとツーリズム協会(沖縄県)

大宜味の緑豊かな自然の中、学んでほしい・ 感じてほしい結の心

審査委員

審査委員長

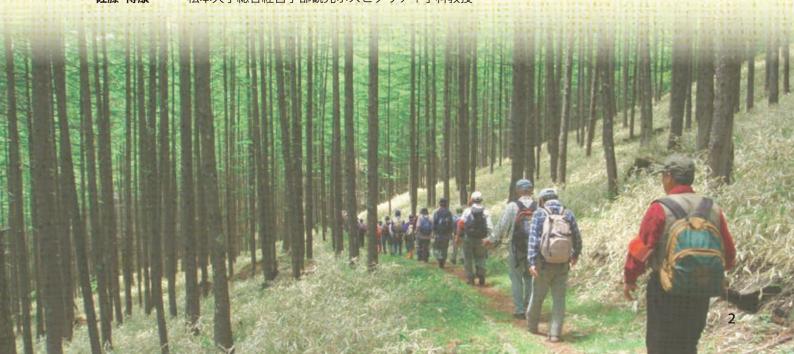
下村 彰男 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

越智良典 一般社団法人 日本旅行業協会理事・事務局長

海津 ゆりえ 特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会理事

桜井 義維英 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家所長

佐藤 博康 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科教授





はりえしょうず さといいんかい 針江生水の郷委員会

かばた文化を守る・伝える~針江

滋賀県高島市

講評

第3回エコツーリズム大賞の特別賞、第7回の優秀賞を受賞しておりその後2年間の発展的な取組が評価された。地域固有の魅力である川端(かばた)を生かした定期的なツアーの実施や、休耕田等を活用した児童・学生への環境学習、川端付きの宿泊施設の提供、町づくりのための区行事への協力を進めるにあたり、環境保全や地域活性化に向けた工夫が随所にみられる。具体的には、環境学習の中での竹林の整備や竹材のツアーでの活用、苗木作りと湧水の源流地域への植樹、地元食材の活用の他、地域商店の利用促進を目指した地域通貨の積極的利

用や地域住民によるボランティアガイドの参加促進などを、住民 主体の組織がバランスよく継続的に実施している。これらの取 り組みは、地域が主体であるエコツーリズムの取組のモデル事 例として高く評価されるものである。

ETP-708-L

応募概要

地域の家々に残る「川端 (かばた)」を中心にエコツアーを 展開。地域の環境保全活動にも取り組んでいる。

受賞の言葉





この度は大賞を受賞でき、たいへん光栄 に存じます。私たちの活動はこの春で満 10 年を迎えます。

針江は関西でも北東部の端っこ、片田舎 の活動が思いもよらぬ賞を頂きましたことに 感謝致しますとともに、驚きと戸惑いを禁じ 得ません。

振り返りますと活動の発端は、丁度 10 年前にNHKスペシャル「里山、命めぐる水辺」が放送されました。その後、徐々に増え続ける見学者の対応すべく立ち上げた組織です。

当時の地区の住民にしてみれば「至極当たり前の川端、こんな所を見に来る人なんてすぐに居なくなる。」と考えておりました。

委員会でも、平穏な針江を観光地化して

街を荒らしてはならない。そのことを念頭にしていました。案内料 を支払ってまで見学する人は増えるはずがないと。

ところがお越し頂く皆様から、針江の水文化、"川端(かばた)"を中心とした環境が特筆すべき重要かつ貴重なもの、後世に引き継がなければならないことなど、たくさんのご意見を頂戴し、案内が中心の活動も多岐になってきました。

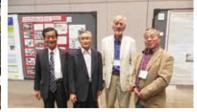
私たちがこんにちエコツーリズム大賞の大賞を受賞できました は、お越し頂いた方や、機会ある毎に取り組み発表の場を与えて 頂いた皆様方に感謝申し上げます。

活動内容

家々に湧き出る水と家々の間を流れる 水路を組み合わせて利用する「川端(か ばた)」を中心に、地区を流れる針江大 川やびわ湖に至るまで様々な水との関わ りを中心に、針江地区全体を「針江里 山水博物館」として紹介。町づくり委員 会の一員として地域活性化に関わり、身 近な自然環境の保全を促す機会づくり に取り組んでいる。









組織の沿革

代表者名: 田中 義孝 設立 : 2004 年 所属人数: 80 名

連絡先

〒 520-1502 滋賀県高島市新旭町針江 372

Tel: 0740-25-6566

e-mail: shozunosato@lapis.plala.or.jp Web: http://www.geocities.jp/syouzu2007/

優秀賞

株式会社 知床ネイチャーオフィス

知床の自然を未来へつなぐために

北海道斜里郡 斜里町

講評



自然解説活動、体験学習、教育・研修活動のコーディネートだけでなく、知床における観光や自然に関する調査などを通じて、世界自然遺産に登録された知床の自然について伝え、保全するための活動を実施しており、年間ツアー催行数約2,100回、参加者23,000人を超える。また、国の機関や地元自治体と協力しての「ヒグマへの餌やり禁止キャンペーン」の展開や、漁師が行う流氷ウォークの運営への協力など、地域のさまざまな主体と協力して地域の発展に資する環境保全活動を展開している点が高く評価された。

応募概要

知床におけるエコツーリズムの牽引役として、エコツアーの定着を図る様々な活動を行っている。世界自然遺産・ 知床の観光にエコツーリズムの理念を取り入れ、地元漁師などとも積極 的に交流し、自然保護と観光が調和した知床らしい観光の推進や若手 観光関係者育成に貢献している。

活動内容

知床におけるエコツーリズムの牽引役として、エコツアーの定着を図る様々な活動に寄与。世界自然遺産・知床の観光にエコツーリズムの理念を取り入れ、地元漁師などとも積極的に交流し、自然保護と観光が調和した知床らしい観光の推進に貢献。また若手観光関係者育成のためのアドバイスなども行っている。



組織の沿革

代表者名: 松田 光輝 設立 : 2006 年

所属人数:8名

連絡先

〒 099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東 365

Tel: 0152-22-5041

e-mail: discover@sno.co.jp Web: http://www.sno.co.jp

優秀賞

特定非営利活動法人 飛騨小坂200滝

小坂の素晴らしい自然環境を守り・伝え・繋げます

講評



独自の滝めぐりルートを設定し案内を行っており、途中で樹木の話題や渓流魚を活用した食事を提供するなど、滝を巡るだけではなく、五感を用いた自然環境の理解促進に努めている。コースは環境負荷を減らすため、ルート毎に各ツアーおよび年間のツアー参加者数を制限しているだけでなく、定期的に維持管理活動を実施し、持続可能な自然資源の利用を図っている。また、市内の小・中・高校へ出張授業等を行い、地域の自然の素晴らしさを伝えるなど、若い世代の育成に力をいれている点などが高く評価された。

応募概要

地域にある滝を、地域のヒト・コト・モノなどもともとある魅力とともに楽しむ エコツアーを行う。

活動内容

御嶽山麓に多数存在する滝を巡るルートを設定し、エコッアーを展開。ただ滝を眺めるのではなく、五感を通じて滝を中心とした自然環境に溶け込んでいく体験を提供している。また地域にある様々な資源を掘り出し連携することで「小坂スタイル」のツアーを提唱し、地域振興に貢献している。



代表者名: 桂川 淳平 設立 : 2006 年 所属人数: 26 名

組織の沿革

連絡先

〒 509-3115 阜県下呂市小坂町小坂町 769

Tel: 0576-62-2215

e-mail: hidaosaka200taki@ever.ocn.ne.jp Web: http://www.osaka-taki.com/

優秀賞

特定非営利活動法人 桜島ミュージアム

活火山を体験しよう!桜島まるごと博物館

鹿児島県鹿児島市

講評



第7回エコツーリズム大賞の特別賞を受賞している。これまでの活動に加え、桜島の魅力を紹介するため、地図上のチェックポイントを制限時間内にどれだけ巡るかを競うロゲイニングというスポーツの手法を取り入れた活動を展開し始めている。このほか、磯の観察を通した火山と人との共生、火山灰を活用した窯元での陶芸体験、桜島大根を活用した農業体験など教育旅行にも力を入れている。また、当該法人のスタッフのほか地域の方をガイドとして参画させており、地域振興にも貢献していることが高く評価された。

応募概要

第7回エコツーリズム大賞・特別賞の受賞からさらに活動内容 を発展させ、絶滅危惧種保全イベントなどの新規取組も行って いる。

活動内容

桜島全体を博物館ととらえ、自然・歴史・文化の、調査・保存・ 展示活動を行い、これらの活動を通じて桜島地域全体の活性 化を目指している。従来からのエコツアーや特産品のブランド 化に加え、地域をめぐる「ロゲイニング」や絶滅危惧種保全の イベント開催、教育旅行なども始めている。



組織の沿革

代表者名:福島 大輔 設立 : 2005 年 所属人数:10 名 連絡先

〒 891-1541 鹿児島県鹿児島市野尻町 205 番地

Tel: 099-245-0100

e-mail: info@sakurajima.gr.jp Web: http://www.sakurajima.gr.jp

特別賞

特定非営利活動法人 えがおつなげて

都市と農村をつなぎ、安定的に農村の環境を守る

講評

企業の CSR 活動や都市部の教育委員会と連携し、生物多様性についても解説を加えつつ農林業体験ツアーを実施している。ツアーは耕作放棄地を開墾することを第一歩としており、遊休農地の解消、地元農業の振興、農地管理スタッフの育成



による地元への新規就農者の 増加につなげている。ツアーに おける連携をきっかけに住宅関 連企業と、県、同団体との間 で県産材の利用拡大推進協定 が締結されるなど、地域振興に

貢献している。このように、企業等 との効果的な連携を通じた取り組み が高く評価された。



耕作放棄地など、既に荒れてしまった農地や森林をフィールドとして活用している。企業の CSR 活動や団体の人材教育などの都市部のニーズを農村とマッチングさせ、ツアーを継続的に実施することで、安定的に農村の環境を守る仕組みを作りだしている。





組織の沿革

代表者名: 曽根原 久司 設立 : 2001 年

所属人数:11名

連絡先

〒 408-0115 山梨県北杜市須玉町大豆生田 1175

Tel: 0551-42-2845

e-mail: egao_info1-all@npo-egao.net Web: http://www.npo-egao.net/

特別賞

特定非営利活動法人 八ヶ岳スーパートレイルクラブ

豊かな自然・歴史・文化の魅力を再発見

長野県茅野市

講評



長野、山梨両県にまたがる平均標高 1,500m 程度の登山道、 自然歩道等を 16 のエリアに分け、体験ウォーク、スノーシュー ウォーキングや樹木観察会を開催している。「指導標」と呼ば れる看板の設置等をはじめトレイル整備と自然環境保全を行っ ている。トレイルを中心とした交流人口の増加を促す活動が 浸透し、旅行会社や中学校・高校の体験旅行にも採用される ようなってきている。また、地域の自然学校や地域のエコツー リズム協議会とも連携を取り人材育成やプロモーションを行っ ている点が評価された。

活動内容

八ヶ岳連峰の山麓を周回する約200kmに及ぶ『歩く旅の道』八ヶ岳山麓スーパートレイルを整備。トレイルを中心とした交流人口の増加を促すことにより地域の活性化をはかり、また登録ガイドを養成し、安全・快適に地域の自然、文化を楽しめる工夫を行っている。



代表者名: 米川 正利 設立 : 2011年 所属人数: 26名

連絡先

〒 391-8521

長野県茅野市塚原 1-3-20 (茅野商工会議所内) Tel: 0266-72-2800 e-mail: info@ystrail.jp

Web: http://ystrail.jp



鳥羽市エコツーリズム推進協議会

自然を大切に 文化を大切に 観光を楽しむ

三重県鳥羽市

講評

多様な主体が関わるエコツーリズムの取組は、推進する上で地域の合意に基づいたルールづくりが大変重要であり、全体構想の策定及び認定に係る取組が高く評価された。これまでエコツーリズム宣言の発表、シンポジウムやエコツーカフェの開催を行い、地域住民による地域の魅力の再認識を促進し、エコツーリズムに関する理解を深め、普及と定着を図ってきたことが結実している。全体構想に基づいた今後の取組がエコツーリズムによる地域振興、観光振興の全国的モデルとなることが期待できるものである。



活動内容



鳥羽地域が長く受け継ぎ大切にしてきた恵み豊かな自然、そして海女

文化に代表される伝統的な文化 等、地域環境の継承や持続的活 用を図るための活動を行い、エ コツーリズム推進法に基づくエコ ツーリズム全体構想を策定した。 (平成26年3月、国の認定見込み)



組織の沿革

代表者名: 江崎 貴久 設立 : 2010年 所属人数: 25名 連絡先

〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽三丁目1番1号鳥羽市観光課内

Tel: 0599-25-1157

e-mail: kanko@city.toba.mie.jp Web: http://www.city.toba.mie.jp/kanko/eco/

特別賞

特定非営利活動法人 おおぎみまるごとツーリズム協会

沖縄県国頭郡大宜味村

大宜味の緑豊かな自然の中、

学んでほしい・感じてほしい結の心

講評

民泊事業の信頼を高めるため、民泊施設の旅館業法の100%取得やホスピタリティ向上のための研修を定期的に実

施している。民泊施設が12軒から34軒にまで増加したことや子どもたちの受け入れ数が増加したことで、地域への経済効果を与えているだけでなく高齢者の精神的な支えとなりつつある。自然環境保全のための学習会と教育啓発活動を行っており、赤土流出防止のための植樹も行っている。このほか東北復興支援では、物産と人的交流を築き、行政間の交流までに発展させたことも高く評価された。

活動内容

地域の豊かな自然を壊すことなく、環境保全と緑豊かな自然を次世代に受け継ぐ持続可能な観光事業の構築、新たな産業と雇用の 創出をめざし、行政と地域が協働連携している。民泊を主体事業とし、

コンセプトとして「体験 滞在型・交流新教育ツー リズム」を掲げている。





組織の沿革

代表者名: 宮城 健隆 設立 : 2010 年 所属人数: 76 名 連絡先

〒 905-1314 沖縄県国頭郡大宜味村字田港 1357-18 番地 ぶながや館内

Tel: 0980-44-1960

e-mai: oogimi.marugoto@kugani.jp Web: http://www.ogimi-tourism.com

エコツーリズム大賞 過去の受賞団体

第1回

大賞	ピッキオ(長野県)
優秀賞	小笠原ホエールウォッチング協会 (東京都) 株式会社 南信州観光公社 (長野県) ホールアース自然学校 (静岡県) やんばる自然塾 (沖縄県)
特別賞	特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト (北海道) 財団法人 キープ協会 (山梨県) 紀南ツアーデザインセンター (三重県) 特定非営利活動法人 黒潮実感センター (高知県) 有限会社 屋久島野外活動総合センター (鹿児島県) 仲間川地区保全利用協定締結事業者 (沖縄県)

第2回

大賞	ホールアース自然学校(静岡県)
優秀賞	特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト (北海道) 白神マタギ舎 (青森県)
127370	特定非営利活動法人黒潮実感センター(高知県)
特別賞	特定非営利活動法人 たてやま・海辺の鑑定団 (千葉県) 加賀市観光協会・加賀市観光情報センター (石川県) 富士山登山学校ごうりき (山梨県) 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ (長野県) 松本電気鉄道株式会社・濃飛乗合自動車株式会社 (長野県・岐阜県) 海島遊民くらぶ (有限会社オズ) (三重県)

第3回

大賞	認定特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト(北海道)
優秀賞	いしかわ自然学校(石川県) 海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県) させぼパール・シー 株式会社(長崎県)
特別賞	体験村・たのはた推進協議会 (岩手県) 二戸市楽しく美しいまちづくり推進委員会 (岩手県) 裏磐梯エコツーリズム協会 (福島県) 有限会社 リボーン 〈エコツーリズム・ネットワーク〉 (東京都) 高山市乗鞍山嶺五色ヶ原の森 (岐阜県) 針江生水の郷委員会 (滋賀県)

第4回

大賞	飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会(埼玉県)
優秀賞	越後田舎体験推進協議会(新潟県) 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ (長野県) 財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター (熊本県)
特別賞	秋田白神ガイド協会(秋田県) 稲取温泉観光合同会社(静岡県) マキノ里湖体験ツアー協議会(滋賀県) 大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会(鳥取県) 秋吉台地域エコツーリズム協会(山口県) 特定非営利活動法人 おぢかアイランドツーリズム協会(長崎県)

第5回

大賞	海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)
優秀賞	富士山登山学校ごうりき(山梨県) 紀南ツアーデザインセンター(三重県) 特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館(高知県)
特別賞	知床オプショナルツアーズ SOT!(北海道) ゆっくりずむ北海道(北海道) 株式会社 JTB 関東(埼玉県) 特定非営利活動法人 あそんで学ぶ環境と科学倶楽部(東京都) 有限会社 地域観光プロデュースセンター(滋賀県) エコガイドカフェ(エコツーラボ合同会社)(沖縄県)

笋6回

大賞	特定非営利活動法人黒潮実感センター(高知県)
優秀賞	有限会社 リボーン〈エコツーリズム・ネットワーク〉(東京都) 宮津市エコツーリズム推進協議会(京都府)
特別賞	尾瀬認定ガイド協議会(群馬県) 社団法人 若狭三方五湖観光協会(福井県) 特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金 (長野県) 特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校 (宮崎県)

第7回

1 1 1 1 H	
大賞	特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ (長野県)
優秀賞	てしかがえこまち推進協議会(北海道) 二戸市宝を生かした事業実行委員会(岩手県) 針江生水の郷委員会(滋賀県)
特別賞	小岩井農牧 株式会社 (岩手県) 株式会社 エコロの森 (富山県) 飛騨里山サイクリング (株式会社美ら地球) (岐阜県) 特定非営利活動法人 桜島ミュージアム (鹿児島県)

第8回

大賞	紀南ツアーデザインセンター(三重県)
	小岩井農牧 株式会社 (岩手県)
優秀賞	特定非営利活動法人
	あそんで学ぶ環境と科学倶楽部 (東京都)
	高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森(岐阜県)
	日高地域活性化協議会(北海道)
	谷川岳エコツーリズム推進協議会(群馬県)
特別賞	特定非営利活動法人 赤目四十八滝渓谷保勝会 (三重県)
	湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部(滋賀県)
	社団法人 西土佐環境・文化センター四万十楽舎 (高知県)

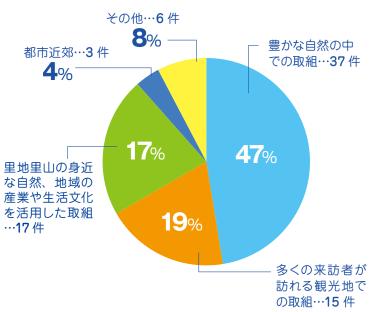


第9回エコツーリズム大賞へ応募があった57件を、「応募主体」「地域特性」「取組分野」「対象主体類型」でとに集計。さらに「全国応募状況」として都道府県でとにまとめた。

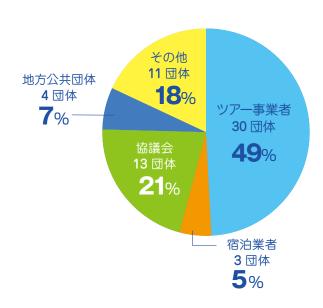
応募主体



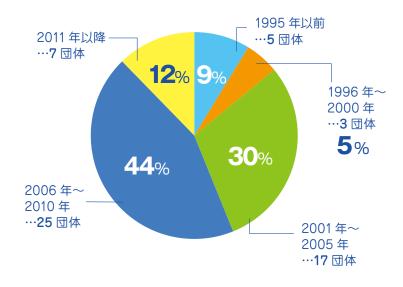
地域特性



対象主体類型



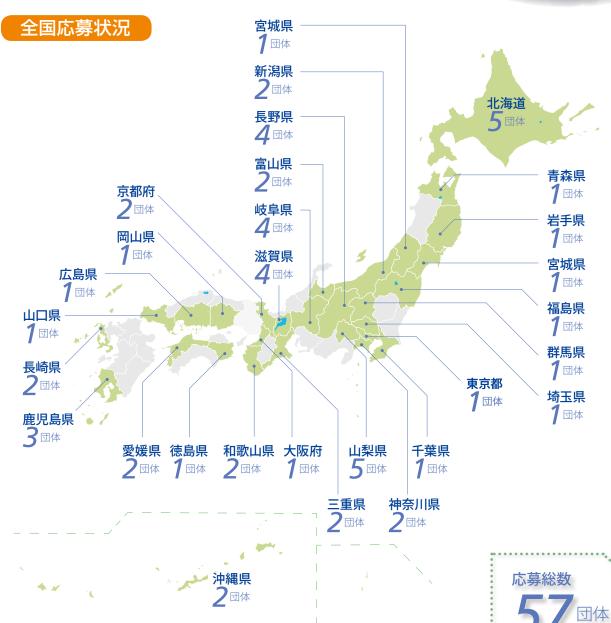
設立年











「第10回エコツーリズム大賞」募集のご案内

募集対象

●エコツーリズムへの優れた取組事例を募集します。

取組の例

- ・地域におけるエコツーリズム推進団体の設立と運営
- ・保全利用協定やガイドラインなどのルールづくりやその継続
- ・農業体験や校外学習などと連携したエコツアーの実践
- ・環境への配慮や環境保全への貢献
- ・エコツアー等の情報提供の取組
- ・環境保全や地域振興への観光収益の還元システムづくり
- ・エコツアーにおけるゴミの削減や環境負荷の低減
- ・エコツアーのマーケティングや斡旋などを含めたエコツアー事業の運営など



表彰

●エコツーリズム大賞(1点)、エコツーリズム優秀賞と特別賞各数点を予定しています。

*受賞者には表彰状と副賞を授与します。

応募資格

- 1. エコツーリズムに取り組む団体(事業者、企業、地方自治体、地域のグループ等)
- 2. 経験年数、法人格の有無、種類は問いません。
- 3. 自薦、他薦の別を問いません。
- 4. 過去の優秀賞・特別賞受賞者も応募可能です。

募集時期

2014年夏頃予定。詳細は環境省ホームページでご案内する予定です。 (http://www.env.go.jp/)

審査

エコツーリズム大賞審査委員会において各賞を選定し、環境大臣が決定します。 決定後受賞者に通知し、表彰式を行います。



発行日: 2014年3月

発 行: 環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室

〒 100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL: 03-3581-3351 FAX: 03-3508-9278

http://www.env.go.jp/

制作協力: NPO 法人 日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society (JES)

